

四国中央市空家等対策協議会 会議記録

開 催 概 要

1. 会 議 名 第16回四国中央市空家等対策協議会
2. 開催日時 令和5年2月14日（火）午前10時30分～午前11時00分
3. 開催会場 四国中央市本庁舎5階会議室
4. 出席者 （会長） 篠原実
（委員） 井上定恵、加地義和、合田英昭、西川康子、
三浦裕章、吉田茂生、脇研二、鈴木一伸
津田哲、徳永貢一郎、三宅繁博
（欠席委員：岸良一、倉澤生雄、久米幸一、横田圭三）
（オブザーバー）
愛媛県東予地方局建築指導課（四国中央土木事務所駐在）
建築主事 橘雅彦
（事務局） 今村昭造
吉岡努、薦田仁志、佐藤誠、進藤憲一郎
（業者） 株式会社五星
白川英明
5. 傍 聴 者 なし
6. 会議次第 1 開会
2 会長あいさつ
3 協議
（1）第2期四国中央市空家等対策計画の策定について
（2）その他
4 その他
5 閉会

=====
議 事 概 要
=====

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議

- （1）第2期四国中央市空家等対策計画の策定について

【原案説明】

前回のご意見をを受けて修正したうえで、市議会でご意見をいただき、そのうえで、タウンコメントに供したが、ご意見はなかった。

前回分の修正個所について説明する。

まず、25頁、令和3年民事基本法制の見直しについて、わかりやすく修正した。

28頁、住宅用地特例について、説明を書き足したうえ、資料編でも配慮した。

34頁から35頁にかけて、官民一体の空き家対策について、第1回空き家・空き地無料相談会などについて書き足した。この際に報告しておくとして、3月5日に予定している空き家・空き地対策連携推進会議による空き家相談会については、昨日から募集を開始して、12件の枠に対して、すでに8件の申し込みがある。あらかじめ資料を整理して事前の準備を進めたい。

36頁、連携の事例について書き足した。

38頁、早期、中期、長期と分類したうちの早期について、令和5年度には何をするかを書き加えた。

これに、資料類及び規定類を加えたものをもって、成案としたい。

【質問・意見等】

(委員)

3月何日に何とかがあるというのは何か。

(事務局)

空き家・空き地対策連携推進会議の主催による第2回空き家・空き地無料相談会を3月5日に開催する。

(委員)

今までも成果らしいものはないのだろうと思う。具体的に何かやってほしい。80万円の補助金しかない。

期待をもって委員を受けたが、何もなかった。ショックを受けた。

突破口を開いてほしい。

(委員)

令和4年は、連携協力推進基本協定が結ばれ、推進会議主催で空き家・空き地無料相談会が開催された。これは、いいものだということで、続けていくということは、成果だと思う。

また、令和5年度は、他の部署ではあるが空き家バンクをやるという話も聞いている。

推進会議でいろいろな意見が出て、みんなで話し合い、前向きに進んでいると思う。もっと協議を進めることで、もっと成果が出てくると思う。

(事務局)

本案2頁において空き家の増加を推計している。8頁では数値目標を示している。委員のご意見のとおり、推進会議と相談会は成果が出ていると思う。また、空家等除却補助金については、沿道要件の見直し等の拡充を予定している。

(委員)

まずは、危険な空き家を増やさないという取り組みが大事だと思う。そうした点で、相談会等の取り組みは評価されるべきものだが、相談内容の類型化・分析を進めて、本協議会で協議すれば、もっと効果が上がると思う。

(事務局)

第1回の反省点としては、接道状況をはじめ現場の状況が十分にわからないという点があり、今回はあらかじめ確認するなど準備しておきたい。

(委員)

それならば、ヒアリングシートを共有してまとめておくと相談も円滑に進むうえ、情報として整理しやすくなる。

(委員)

この秋から施行される建物の取り壊しにかかるアスベスト調査義務化の問題だが、空き家の除却に際しても費用がかさむことになる。この点、空き家の除却を推進していくうえで配慮が必要ではないか。

(事務局)

ご指摘の観点を踏まえ、今後、検討していきたい。

他に、異論もないようなので、原案については承認ということで次へ進みます。

【協議成果】

原案通り異議なく了承された。

(2) その他

4 その他

特になし。

5 閉会